

行田市農産物品評会・農協まつり

市内の農家の皆さんが丹精込めて作った農産物を一堂に集め、出来栄を競う行田市農産物品評会を開催します。また、併せて農協まつりも行います。

▼日時 12月4日(土)午前9時30分～午後4時

▼場所 ほくさい農業協同組行田中央支店

▼その他 品評会に出品された農産物は午前11時から即売します。

▼問い合わせ 農政課農政担当(内線386)または同支店 ☎556-1171

教育委員会委員長に 岸田 昌久氏



岸田 昌久氏

10月1日に開催された教育委員会臨時会で、平成21年10月1日から本市教育委員を務めている岸田昌久氏(行田・63歳)が教育委員会委員長に選任されました。

▼問い合わせ 教育総務課庶務担当 ☎556-18311

利根大堰サケ遡上・採卵観察会

「大堰自然の観察室」では、卵を産むために太平洋から利根川を150キロメートルもさかのぼるサケの姿を見ることが出来ます。

▼日時 11月13日(土)午後1時～3時
※小雨決行

▼場所 「大堰自然の観察室」付近

▼内容 ①サケの生態と利根大堰についての説明会

②遡上・採卵観察会

③利根導水路事業概要のパネル展示

④クイズ大会(景品あり)

⑤行田産の花およびフライ・ゼリーフライの販売

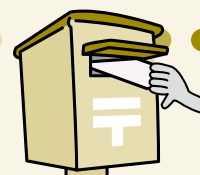
▼問い合わせ (独)水資源機構利根導水総合事業所広報担当 ☎557-1501
または農政課農政担当(内線387)



昨年のサケ遡上・採卵観察会の様子

『市長への手紙』32

このコーナーは、手紙や電子メールなどにより市長へご意見・ご提言などをいただいたものの中から、その一部を紹介するものです。▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)



意見

防災行政無線がうるさくて、昼寝をしている子どもが起きてしまい、迷惑している。警察などからの依頼による放送についても時間を決めて放送してもらいたい。

回答

防災行政無線は、住民の皆さんへの緊急連絡のための通信手段として、市内全域にスピーカーを設置し、すべての家庭に放送内容が伝わるよう整備されています。その放送内容は、市民の生命および財産を守るためのものであり、迅速、かつ的確に市民の皆さんへ周知する必要があります。スピーカーの近くにお住まいの方にはご迷惑をお掛けしていますが、市民の皆さんの安全を守る一つの大切な手段としてご理解ください。

意見

近隣市では中学まで通院が無料となっているところがあるが、行田市では考えていないのか。

回答

子ども医療費のさらなる制度の拡充につきましては、相当額の財政負担を伴うことから、財政状況などを総合的に検討する必要がありますが、このたびの意見をはじめ「市長と語る対話集会」や「さわやか訪問」などにおいて、子ども医療費の無料化拡大を求める意見が多く寄せられていることを踏まえ、多くの市民の皆さんの要望にお答えするため、条件整備を急ぎ、来年4月から、通院対象年齢を中学校卒業まで拡大していきます。

意見

一般企業では、仕事の実践や商品知識、接客対応、法令順守などの指導や教育により、成長して管理職となっていく。行田市職員の教育や研修は大丈夫か。

回答

市では、職員の教育として、新規採用職員から管理職員まで各階層に応じた一般研修、住民との協働や窓口対応など課題を特化した特別研修など、各種研修を実施し、市民サービスの向上に努めています。「企業は人なり」といいますが、市役所にとって職員の育成を図ることは大変重要なことです。今後とも、的確な研修を実施すると同時に、適宜見直しを図り、職員の育成を推進していきます。